

令和 8 年度シラバス（情報）

学番 2 9 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	情報（情報Ⅰ）	単位数	2 単位	学年	1 年次
使用教科書	実教出版 『図説 情報Ⅰ』				
副教材等	実教出版 『全商情報処理検定問題集 情報基礎』 『全商情報処理検定問題集 情報処理』 『全商ビジネス文書実務検定問題集 3 級』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラムポリシー	①地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立つようとする意識を育成する。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習目標

(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
--

3 指導の重点

1. コンピュータのソフトウェア活用能力を身につける。 2. 情報を活用していくための知識を身につける。 3. 情報社会に主体的に参加する態度を身につける。 4. 学習の成果としての検定受験（全商情報処理検定 3 級・全商ビジネス文書実務検定 3 級）
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報社会の進展と問題解決の方法、最新の情報と情報技術などについて基礎的な知識について理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	情報社会の進展によって生じている問題を発見し、最新の情報と情報技術などを適切かつ効果的に活用して創造的に解決している。	情報産業及び情報技術者の業務内容について自ら学び、情報社会の進展を支える最新の情報と情報技術などを活用することに主体的かつ協動的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ ・課題テストや定期考査の分析 ・課題プリントの成果 ・制作課題の成果などの内容を 確認しながら、評価します。	以上の観点を踏まえ ・課題テストや定期考査の分析 ・授業への参加内容 ・各種課題やプリントの作成など の内容を確認しながら、 評価します。	以上の観点を踏まえ ・授業中の態度や取り組み方 ・各種課題やプリントの提出状況 ・振り返りシートの記入内容 の分析などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、観点別「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。各単元ごとの評価規準については授業で詳細を説明します。		

6 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5		教科書 プリント	オリエンテーション	教室の使い方・マナー 入力練習	2	授業の取組 実習課題 定期考査 (知識・技術) (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)
	第1章 情報社会と問題解決	教科書 プリント 問題集	1 節 問題解決 2 節 情報における法規と制度 3 節 情報セキュリティと個人 が行う対策	情報の収集と整理 知的財産 権と産業財産権 情報の暗号 化 セキュリティ対策 等	4	
	第2章 コミュニケーションと情報 デザイン	教科書 プリント 問題集	1 節 メディア 2 節 コミュニケーション 3 節 情報デザインと表現の工夫 4 節 コンテンツの作成	メディアリテラシー インター ネット上のコミュニケーション 表現の工夫 スライド の作成と発表 等	6	
6	第3章 情報とコンピュータ	教科書 プリント 問題集	1 節 情報の表し方 2 節 コンピュータでのデジタル 表現 3 節 情報機器とコンピュータ	2進数と情報量 表現のデジタル 化 さまざまな情報機器 ハード ウェアとソフトウェア 等	8	
7 8 9	第5章 モデル化とデータ の活用	教科書 プリント 問題集	1 節 モデル化 2 節 シミュレーション 3 節 データの活用	入力練習・表計算ソフトの利用 様々な関数・グラフ作成 等	16	
10 11 12	第4章 アルゴリズム とプログラム	教科書 プリント 問題集	1 節 アルゴリズムと基礎構造 2 節 プログラムの基礎 3 節 プログラムの応用	入力練習・ネットワークのコミュニケーション 方法・ ネットワークの特性・コンピュータウイルス対策・ 情報の暗号化・情報セキュリティポリシー等	24	授業の取組 実習課題 定期考査
1 2 3	第6章 ネットワーク と情報シ	教科書 プリント	1 節 ネットワークの仕組み 2 節 情報システムサービス 3 節 情報セキュリティ	入力練習・身近な情報システム・ 情報社会の課題・問題解決の方 法 適切な情報発信 等	10	

計 70 時間 (50 分授業)

7 担当者からの一言

パソコンの活用能力に限らず、コンピュータに関する知識、情報モラルについて学習します。特に「正しい情報発信」「情報の真贋の理解」などの情報モラルについては、高校生活や卒業後の人生において、被害者や加害者にならないための大切な学習です。意欲的に取り組んで下さい。
